

2024年2月19日

各位

SBI スマートエナジー株式会社

ソーラーシェアリングで作られた日本酒「縁禮」が誕生！
～再生可能エネルギーと農業による地域循環共生圏の構築に貢献～

SBI ホールディングス株式会社（本社：東京都港区、代表取締役会長兼社長：北尾 吉孝）の100%子会社で、再生可能エネルギーを用いた発電事業等を行う SBI スマートエナジー株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：河原 武志、以下「SBI スマートエナジー」）は、ソーラーシェアリング（営農型太陽光発電）から作られた日本酒「縁禮（えんれい）」が完成しましたのでお知らせします。

日本酒「縁禮（えんれい）」は、原材料に SBI スマートエナジーが岩手県紫波町で運営するソーラーシェアリングの下部農地で栽培された岩手県の酒米「ぎんおとめ」と岩手県の酵母「ジョバンニの調べ」を使用し、南部杜氏発祥の地、岩手県紫波町の月の輪酒蔵店にて製造されました。

また、岩手県花巻市のワイナリーから譲り受けた赤ワイン樽で半年間寝かせることで、ほのかなさくら色と独特な風味に仕上がっており、原料の栽培から日本酒の製造までオール岩手県産の日本酒となります。

縁禮（えんれい）という名前は、事業を通じて関わる皆様とのご縁や地域とのつながり、エネルギーと農業の調和、太陽と大地の恵みへの感謝という想いから名付けられました。この日本酒の売上やソーラーシェアリングの売電収入の一部は地元農家への還元及び地域の環境保全に活用され、ソーラーシェアリングによる耕作放棄地の解消や CO2 の削減に加え、環境に配慮した商品の提供による地域活性化にも貢献しております。



今回作られた日本酒「縁禮（えんれい）」は、同じ SBI グループ企業でリテール向け外国為替証拠金取引（FX 取引）事業を展開し、近年では同事業を通じた SDGs 普及推進にも尽力している SBI FX トレード株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：藤田 行生、以下「SBI FX トレード」）との協業により、同社キャンペーンにおける顧客プレゼント等としても今後活用いただく予定です。

SBI スマートエナジーと SBI FX トレードは今後ともこのような活動を通じて日本の SDGs 目標達成に貢献して参ります。

※ 地域循環共生圏とは、地域資源を活用して環境・経済・社会を良くしていく事業（ローカル SDGs 事業）を生み出し続けることで地域課題を解決し続け、自立した地域をつくるとともに、地域の個性を活かして地域同士が支え合うネットワークを形成する「自立・分散型社会」を示す考え方で、地域での SDGs の実践（ローカル SDGs）を目指すものです。

月の輪酒造店について

南部杜氏発祥の地、岩手県紫波郡紫波町にて 1886 年に創業。代々当主が杜氏を兼ねるオーナー杜氏として酒造りの指揮を執っており、現在は創業 5 代目の横沢裕子が杜氏を務める。「企業としてではなく家業として」この理念を持ち続け、常に伝統の継承と技術の革新を目標に掲げる。米は主に岩手の酒造好適米「ぎんおとめ」「吟ぎんが」「結の香」を使用、蔵内の軟水の井戸水（北上川の伏流水）で仕込む。クリアで優しい味わいの中にしっかりとした旨みコクがある、一本芯の通ったしなやかなお酒を目指している。





社 名 : 有限会社 月の輪酒造店
代 表 者 : 代表取締役社長 横沢孝之
杜 氏 : 横沢裕子
創 業 : 明治 19 年(1886 年)
住 所 : 〒028-3303 岩手県紫波郡紫波町高水寺字向畑 101
ホームページ : <https://www.tsukinowa-iwate.com/>

: 「企業としてではなく 家業として」

会社理念 常に伝統の継承と技術の革新を目標に掲げ、日本酒造りには不向きと言われるもち米を 100%使用した純米酒の製造や、原料の米を最大限に利用するしょうちゅうの製造にも取り組むなど新しい事に挑戦し続けております。

【発電所概要】



施設名称 : SBI 紫波第一ソーラーシェアリング発電所
設置場所 : 岩手県紫波郡紫波町火石沢
事業者 : SBI スマートエナジー株式会社
営農者 : 合同会社オービットファーム
発電開始日 : 2022 年 9 月 30 日
パネル出力 : 56.9kW
年間発電量 : 58,953kWh (年間 22.84t の CO2 排出削減効果) ※

※ 太陽光発電設備の CO2 削減効果：結晶系シリコン太陽電池の CO2 削減効果 387.5g-CO2/kWh をもとに試算。

以上

本プレスリリースに関するお問い合わせ先：

SBI スマートエナジー株式会社 営業企画部 03-6229-0075